

## 2018年度 第 3 回 理 事 会 議 事 録

一般社団法人日本社会人バスケットボール連盟

2018年9月1日午後1時 15 分から、外部会議室TPK品川において、理事会を開催した。

議決権のある理事総数	16名
総理事の議決権の数	16個
出席理事数	13名
この議決権の総数	13個

出席理事 田中博行、佐藤昭、門川浩人、安保敏明、山花英司、川武修、野口加代、杉浦八重子、武井貴、  
池田照、橋本雅子、吉田長寿、小西道雄(記)

出席監事 橋本弘昭、羽角国広

オブザーバー参加 三澤裕、宇田津浩史、 (敬称略)

## 〈開会のあいさつ〉

会議冒頭に田中副会長より開会のあいさつがあった。

## 〈開会の確認〉

定款第36条に則り過半数の出席を有しており理事会が成立していることを報告。

議長は、本理事会は適法に成立し、開会する旨を宣し、直ちに議事に入った。

## 〈審議事項〉

次第には審議事項になっているが、定款24条に則り定期的な事業報告等を理事会にて行うことになっているので議題(1)(2)は報告事項とした。

## (1) 2018年度事業報告について

\* 8/31現在の事業報告とTOP(会長・副会長・専務理事)報告を門川専務理事より報告を行った。  
報告事項ではあるが出席者へ意見及び質問を議長より求めた⇒特に質問等はなく了解された。

【資料の提示】2018年上半期事業報告(進捗状況)、TOP 報告(役員別業務報告)

## (2) 2018年度予算の進捗(半期報告)について

(1)と同様に半期報告として小西事務局長より報告を行った。

報告事項になったが出席者へ意見及び質問を議長より求めた

特に正会員の会費納入状況についての質問が出た。

\* 現在の納入は、31/47都道府県が納入している。納入期日は9月末にしている。

\* 一部の社会人連盟より源資がないのに払えないとの声も聞くが如何なものか？

\* 上位機構(都道府県協会)の組織運営費より負担をお願いしたいと考えていたが、お互いに理解していないこともあり各々の社会人連盟からの説明を行うが、JBAよりも都道府県協会に説明があると理解度が  
増す。・・・JBAにもお願いをする。

【資料の提示】2018年度収支決算書(2018/8/31版)3ページ

## (3) 2018年度競技実施要項の承認について

全国大会にあたる3大会の競技実施要項について山花競技部長より説明があり審議を行った。

特に異議なく承認された。

【資料の提示】第1回全日本社会人 o-40,o-50 バasketボール選手権大会実施要項

第1回全日本社会人Basketボール選手権大会実施要項

第1回全日本社会人Basketボール地域リーグチャンピオンシップ実施要項

## (4) 2018年度ブロック審判講習会について

本年度開催予定のブロック審判講習会について、宇田津審判部長よりスケジュールについて説明があり審議を行った。

\*講習会毎に開催要項が必要ではないのか・・・講習会を進めながら作成していく。

\*全体予算は提示しているが、詳細の経費内訳等の必要・・・開催要項と同時に作成する。

上記項目を整理することで承認された。

【資料の提示】審判委員会 ブロック審判講習会スケジュール表と担当講師一覧表

## (5) 2019年主要大会競技実施要項(含むスケジュール)について

JSBが主催・主管する2019年度主要大会の大会実施要項の審議を行った。

別紙開催日日程表・大会毎の実施要項が山花競技部長より提示され審議を行った。

此処に文言等の訂正等があったが、承認された。

下記修正・訂正箇所

- ① 開催日程表・・・地域リーグは大会回数ではなく年度表示とする。  
2019年社会人Basketボール地域リーグ(北海道リーグ)等
- ② レディース交流大会は、9月中旬までに予選を終了させ10月中旬～11月中旬を目途に大会計画をする。
- ③ OAについても今後は、徐々に都道府県予選計画実施されるのでブロック予選のタイミングが7月中旬以降9月末までに終了させる。
- ④ 競技規則の記述は、《2019～Basketボール規則による》と統一。
- ⑤ 表彰及び閉会式は、表彰式とする。また表彰については、レディース交流大会以外は全国大会の予選にあたるので表彰は2位までとする。
- ⑥ 試合球についても文言を統一すること。

【資料の提示】2019年度競技日程調査および調整計画書、

2019年度競技大会開催日程表

2019年度競技大会実施要項(案)

o-40, o-50 ブロック予選

## (6) その他

安保理事より今年度で終了した国体リハーサル大会(教員大会)を継続させてほしいとの提案があった。・・・従来より提案はあったものの新しく4連盟がスタートしたタイミングではまずいとの一部の声もあり保留になっていた。

今回再度の提案でJBAの決めている認定大会のルールでは実施しても良いとの考えもあるので

実施することで出席理事の承認を得た。

但し、認定大会では、大会開催時は都道府県協会の大会実施組織との連携になり、社会人連盟の姿が見えなくなる。現在実施している他の組織の（例えば銀行大会、官公庁大会等々）大会も同じ考え方で実施していくことが望ましいので今後JBAと調整していきたい。

議長は、以上をもって本日の審議が終了した旨を述べ、14時30分に閉会した。

以上の決議を明確にするため、この議事録を作成し代表理事及び監事がこれに記名し押印する。

代表理事 逢 沢 一 郎



監事 橋 本 弘 昭 羽 角 国 広



理事会に審議終了後報告事項があったので理事会は継続した。

(1) JBA報告

出席した吉田理事より“クラブ昇格システムと制度（規約）検討ワーキングについて  
目的等会議内容についての報告があった。

(2) 2018年度チーム加盟状況（8/23現在）

2017年度を比較した資料に基づき報告があった。次年度の大会枠数にも関係するが、今回大会  
を開催して皆様のご意見を伺い今後の出場大会の変更される可能性もあり、次年度の退会チ  
ーム数は2019年度の登録チーム数の推移を見守りたい。

(3) 大会の運営について

競技部より今後の大会運営について検討していきましようとのたたき台としての資料が提示  
された。時間の関係で理事会での検討はあまりできなかったので競技会委員会で更に詰めて  
理事会へ提案をお願いした。

以上